



デジタルラジオ実用化試験放送の 現状と課題

社団法人デジタルラジオ推進協会



免許の概要

平成15年10月1日交付

免許人	社団法人 デジタルラジオ推進協会	
局名	東京実用化試験局	大阪実用化試験局
周波数	190.214286 MHz(テレビの第7チャンネル)	
送信電力 (1セグメント当り)	800W (100W)	240W (30W)
送信場所	東京タワー	生駒山(NTT西日本)
放送区域	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の各一部	大阪府、京都府、奈良県、兵庫県の各一部



(正会員A 16社
正会員B 3社)

＜デジタルラジオ実用化試験放送＞ チャンネル構成

2004年 9月22日 (50音順)

91 NHK・VICS	92 DR@TOKYO92	93 Digi Q+N 93	94 DAZ94	95 D95	98 Digital Radio 98 The Voice
NHK VICS	FMヨコハマ TBSラジオ&J コミュニケーションズ BAYFM ラジオNIKKEI	NACK5 文化放送 テレビ朝日 (B会員)	J-WAVE メガポート放送 ラジオ日本	伊藤忠商事 ソニー	TOKYO FM ニッポン放送 JFNC(B会員)

大阪

(正会員A 14社
正会員B 3社)

＜放送をしない会員＞松下電器産業 ＜チャンネルに属さない会員＞日本テレビ(B会員)

91	92	93	94	95	96	97	98
朝日放送 伊藤忠商事 fm osaka α-STATION							
FM802 ラジオ大阪 関西テレビ KBS京都							
VICS NHK MBS よみうりテレビ							
Kiss-FM KOBE (B会員) プロムナード (B会員) ラジオ関西 (B会員)							

＜放送をしない会員＞ソニー・松下電器産業

デジタルラジオのメリット

1. CD以上の高音質
2. 多様な放送が可能
3. モア・サービス
4. 携帯で良好な受信
5. 双方向機能の充実

実用化試験放送の課題

◇ 受信機の普及

1. 受信エリアが狭い
(送信電力の出力増が必要)
2. 放送区域が東京・大阪に限定
3. 全国チャンネル・プランが不明確
4. ビジネスモデルが未確定